



いのち・くらし、  
いちばん!!



<連絡先> あべ俊子事務所  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館514号室  
TEL 03-3508-7136 Fax 03-3508-3436  
E-mail go@abetoshiko.com HP <http://www.abetoshiko.com>



## 平成24年度 看護職員関係予算案が内示!

12月24日、平成24年度看護職員会計予算案が閣議決定されました。

新規事業では、「看護業務の安全性等検証事業」として、「特定看護師(仮称)」の業務施行事業に対して予算計上されました。

また、看護職員の離職防止・復職の支援対策として、「医療現場での勤務環境の改善に向けた取組の推進」、および、「看護職員の就労環境の改善事業」のふたつの予算が新たに計上されました。前者は、看護職員の勤務環境の改善に向け、都道府県の労働局に専門のコンサルタントを配置し、看護師等の労務管理等の改善についての相談支援を実施するとともに、先進的な取り組みや好事例等の収集やその普及・啓発等を推進するものです。

また、後者は「雇用の質」向上のため、多様な勤務形態の導入など就労環境改善のための取り組みに対する支援に加え、看護業務の効率化や職場風土改善等についての病棟師長等への研修事業に対する支援を行うための予算です。

これまで医療は聖域とされ、看護の労働問題は、看護職の中だけで議論されてきました。そのため、勤務形態やシフトの組み方は、その職場の文化や病棟風土に大きく影響を受けてきました。現在、女性労働者の20人に1人が看護職であり、「看護職」は女性にとって代表的な仕事といっても過言ではありません。このような予算が計上されることは、看護の問題を看護職だけの問題としてではなく、労働者全体の問題として考えるための大きな足がかりとなるものと期待します。

さらに、執行率が悪く懸案となっていた「新人看護職員研修事業」についても、昨年度は各都道府県からの申請率が上がり、来年も引き続き予算計上が行われました。限られた予算ではありますが、フルに活用してまいります。

## 今年も1年ありがとうございました!

今年は、東日本大震災という未曾有の災害により、多くの尊い命が失われた大変悲しい1年となりました。震災により、私たちの仲間を始め、多数の未来の看護職が犠牲となったことに今も深く胸が痛みます。



この悲しみは月を経た今も癒えることはありません。しかし、私たちはこの震災から多くのことを学びました。看護職だからこそすべきこと、多くの会員がそのような気概を持ち、震災に対応してくださったこと、災害派遣ナースとして自らの危険を顧みず現地に赴いてくださったこと、全国の看護職の存在は被災地にとって大きな支えとなりました。

今年を表す漢字は「絆」に決定しました。悲しい出来事があったからこそ、家族や友人との絆、助け合う人同士の絆など、多くの人が絆の大切さを実感した年であったということから、選ばれたそうです。

会員の皆様が、看護の仕事に誇りと自信をもち、いきいきと働き続けられる環境づくりに全力で取り組んでまいります。

※ 本ファックスがご不要の方は恐れ入りますが、ファックス番号を表示した状態で、FAX03-3508-3436へご返信ください。

## 最近の主な出来事

- 12/09(金) 第179回 臨時国会閉会  
第12回 日本クリニカルパス学会学術集会講演
- 12/12(月) オーストラリア  
国際開発庁副長官との朝食会   
駐日スリランカ大使との夕食会   
with 福田元総理夫妻
- 12/13(火) 独立行政法人 国立病院機構  
久里浜アルコール症センター視察(神奈川県)  
with 中谷元衆議院議員 永岡桂子衆議院議員

### ●2011年の主な活動



衆議院本会議に登壇



看護問題小委員会(with 高階恵美子議員)



国際人口問題議員懇談会国際会議に日本代表として出席(於:パリ)



「尊厳死法制化を考える議員連盟」総会



学童保育の法的充実に関する勉強会